

研究協力をお願い

昭和大学 保健医療学部では、LE 在宅・施設訪問看護・リハビリステーションと下記の臨床研究（学術研究）を行います。研究目的や研究方法は以下の通りです。この掲示などによるお知らせの後、臨床情報の研究使用を許可しない旨のご連絡がない場合においては、ご同意をいただいたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の趣旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

この研究への参加を希望されない場合、また、研究に関するご質問は問い合わせ先へ電話等にてご連絡ください。

在宅生活を送るパーキンソン病利用者の転倒と自宅福祉用具の関連性と実態に関する調査

1. 研究の対象および研究対象期間

2022年4月1日から2024年3月31日まで期間の中で、パーキンソン病の診断によりLE在宅・施設訪問看護リハビリステーションを利用され、この期間中に自宅内で転倒してしまった方を対象とします。

2. 研究目的・方法

パーキンソン病は他疾患と比較すると転倒が多いと様々な研究で報告されています。現在の調査では、一般高齢者と比べても転倒する確率は高く、転倒予防の対策をしていくことが急務となっています。しかし、具体的な転倒予防方法までは検討されていないことも多く、不明な点が多い状況です。要介護高齢者等は転倒予防目的として福祉用具を導入する利用者が多く、介護ベッドや手すりといったものを導入しています。昨年我々は在宅生活を送るパーキンソン病利用者に対し、後方視的に6年間の転倒調査を行いました。結果、パーキンソン病利用者はリビングや寝室での転倒が多いことが明らかとなりました。今回はその追加調査としてパーキンソン病と診断された利用者を対象とし、横断的なアンケート調査を行い、パーキンソン病利用者が福祉用具を導入したことでどれだけ転倒が予防できるのかを検証することを本研究目的として計画をしました。

本研究は学術研究であり、LE在宅・施設訪問看護リハビリステーションを利用した利用者（研究対象取得した情報は、本研究者間のみ情報を共有します。診療情報の利用を伴う同意取得の方法については、LE在宅・施設 訪問看護リハビリステーションのホームページ(<https://www.lovei.co.jp/archive127>)によるオプトアウトにて行います。研究概要（研究目的・調査内容等）を適切に通知・公開し、診療録情報の利用について適切な拒否機会を与えられています。

研究期間

昭和大学における人を対象とする研究等に関する倫理委員会審査後、委員会から発行される「結果通知書の承認日」より、研究機関の長の研究実施許可を得てから、2024年12月31日まで

3. 研究に用いる試料・情報の種類

2022年4月現在、LE在宅・施設訪問看護リハビリステーションにて訪問看護、訪問リハビリサービスを受けている利用者（研究対象者の診療録を用います。用いるデータは、利用者背景（性別、年齢、ヤール分類、生活機能分類、倒歴、転倒場所、転倒時間、福祉用具導入の有無、福祉用具設置場所、福祉用具種類）を調査対象とします。これらの診療録の取り扱いは、LE在宅・施設訪問看護リハビリステーションと昭和大学間で厳重な管理（ファイルには個人が特定できないように符号化します。パスワードを設定し、定期的にパスワードを変更します。データのやりとりはパスワード付き外付けUSBもしくはメールでのやりとりを行う）のもと適切に実施します。

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することも出来ますので、お申出下さい。

また情報が当該研究に用いられることについて研究対象者様もしくは研究対象者様の代理人のご了承いただけない場合は研究対象としないので、下記の連絡先までお申出下さい。その場合でも利用者様に不利益が生じることはありません。

照会及び研究への利用を拒否をする場合の連絡先：

昭和大学への問い合わせ先

所属：昭和大学藤が丘病院 臨床病理検査室（理学療法学科 臨床講師） 氏名：北井 仁美
住所：〒227-8501 横浜市青葉区藤が丘 1-30
電話番号：045-971-1151 内線 6535

LE在宅・施設 訪問看護リハビリステーションへの問い合わせ先

所属：LE在宅・施設 訪問看護リハビリステーション 千鳥町支店 氏名：松本 涉
住所：〒146-0083 東京都大田区千鳥1-15-11 TWIN WOOD SQUARE 501
電話番号：03-6410-9919

研究代表者・研究責任者：

昭和大学

吉川 輝（昭和大学 保健医療学部 保健医療学教育学）